

長野市地域包括支援センター コンフォートきたながいけ

令和5年12月発行

ほっとだより

冬号 

発行責任者：川相 香子

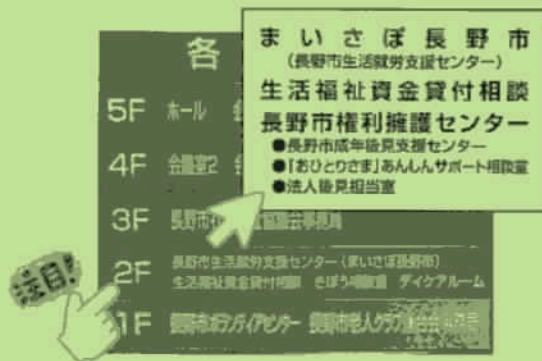
お問い合わせ：026-254-5250

「おひとりさま」 あんしんサポート相談室 をご存じですか？

近くに頼れる家族や親族などの身寄りがない、いわゆる「おひとりさま」の方が抱える将来の不安について一緒に考えてくれる場所が「おひとりさま」あんしんサポート相談室です。

「急に入院になっても頼める人がいない」、「自分で財産の管理ができなくなったらどうしよう」、「自分が亡くなったあとの手続きや片付けは誰に頼めばいいの？」

ひとりでは解決が難しい悩みについて、専門の相談員が不安解消のお手伝いをしてくれます。



「おひとりさま」あんしんサポート相談室

場所：長野市ふれあい福祉センター 2階
長野市権利擁護センター内

相談日：月～金（祝日・年末年始除く）8:30～17:15

利用方法：相談無料。来所や訪問での相談を希望の方はできる限り事前連絡を。

電話：026-219-5115

*詳しくはホームページをご覧ください。



社会福祉法人 長野市社会福祉協議会が運営する長野市権利擁護センター内に令和3年10月に開設されました。同センター内には、成年後見制度について相談のできる「長野市成年後見支援センター」もあり、現在の生活や将来に関する困りごとについて幅広く相談に乗ってもらえます。

長野市地域包括支援センター コンフォートきたながいけ

〒381-0025 長野市大字北長池 935 番地（老健コンフォート岡田内）

☎026-254-5250 営業時間 月～金曜日 8:30～17:30

（営業時間外は転送対応になります）



家計のことや、仕事のことなどで悩んでいたら… まいさぼ^o があります。

なかなか仕事が続かない、家賃が払えない、引きこもっている、病気で働けない…

そんな悩みごとを「受け止め」、「整理」し、「解決のためのお手伝い」をしてくれるのが、

生活就労支援センター“まいさぼ”です。

●相談事例(厚生労働省 制度紹介リーフレットより)

長期引きこもりのケース Aさん(38歳男性)

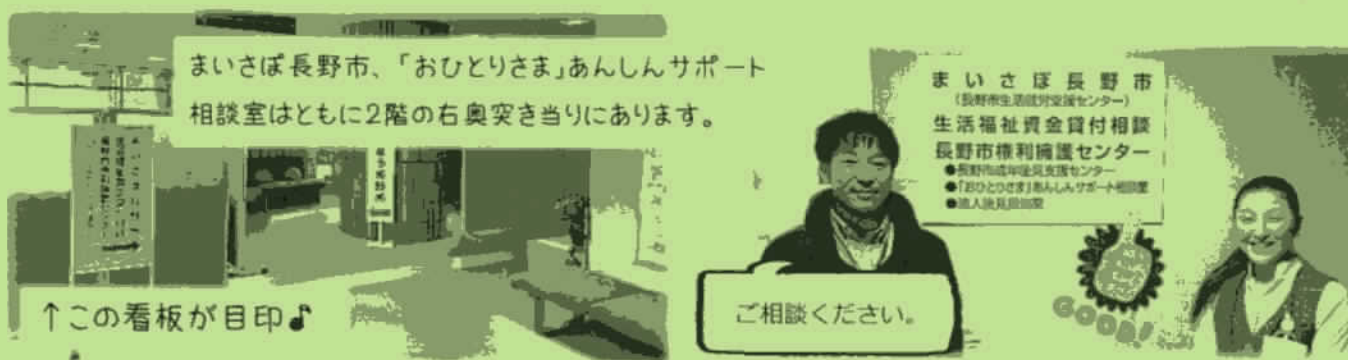
Aさんは、両親と3人暮らし、高校を中退後、一時アルバイトを経験したもののすぐに辞めて家に引きこもるようになりました。父親(80歳)は、無口で、とても厳格な性格で、母親(78歳)は、もともと病気がちで足腰も弱いものの、身の回りのことはある程度対応可能です。父親の厚生年金が家計の中心になっており、母親が管理しています。



まいさぼに相談

●社会参加から就労へ

私(Aさん)は、高校を中退後、アルバイトをしていましたが、アルバイト先でのトラブルで辞めてからは、母親を介護することで、自分の役割がここにあると思うようになり、特に就職する可能性を感じなくなってしまいました。しかし、支援員と何度も話すうちに、近くにある「男性介護者の会」に興味が湧いてきました。試しに行ってみたところ、互いの苦労をねぎらい、自分の存在を認めてもらう仲間に出会うことができ、やがて一緒に活動するようになりました。徐々に自信を取り戻し、今度は支援員に、引きこもりの人などに理解のある飲食店を紹介してもらい、働き始めました。始めは、環境に慣れずに休みがちでしたが、職場の理解も得ながら徐々に休みも減りました。母親の介護は介護保険を申請し、ヘルパーさんに来てもらっており、今では充実した毎日を送っています。



長野市生活就労支援センター “まいさぼ長野市”

場所: ふれあい福祉センター 2階
相談日: 月~金(休日除く) 8:30~17:15
利用方法: 原則予約制 相談無料
専用電話: 026-219-6880
*詳しくはホームページをご覧ください。

「生活就労支援センターまいさぼ」は生活困窮者自立支援法に基づき設置されています。詳しくは長野市社会福祉協議会、または厚生労働省のホームページをご覧ください。

生活困窮者自立支援制度



まいさぼ長野市



厚労省



市社協